

【 撮影エピソード 】

1. ホテルのパーティー会場で撮影

大竹さんのパーティーシーンの撮影は、8月上旬、都内近郊のホテルのパーティー会場で行われました。立食形式のパーティー会場ではピアノと弦楽器の心地よい演奏が響き渡る中、華やかに着飾った総勢 70 人のエキストラが会場の丸テーブルを埋め尽くし、何度もリハーサルを繰り返していました。そこへピンク系の鮮やかなドレスをまとい、笑顔で登場した大竹さん。会場は途端に華やぎ、一同の視線は大竹さんに釘付け。現場のボルテージは一気に上昇しました。

2. 「FOMA らくらくホンⅢ」の新機能に興味津々

まずはCM冒頭のシーンから撮影スタート。衣装と同系色のピンク色のケータイを渡され、スタッフからさまざまな新機能についてレクチャーを受けながら、「本当ですか？ すごいですね！」と目を輝かせていた大竹さん。「FOMA らくらくホンⅢ」の印象を尋ねると、「本体が前よりスリムになって、液晶の画面もキレイになった。あと、飛行場とか駅とか、いま電話しないと困る時、相手の声は聞こえているのに自分の声が聞こえないと言われてたりすることがあります。それがなくなるのは、すごく助かりますね」という、嬉しいコメントが返ってきました。ちなみに携帯電話の待ち受け画面は、「その時々で自分で撮った写真を使っていて、今は子供と旅行に行った時の写真」だそうです。

3. 茶目っ気たっぷりの大竹さん

「もう少しイジワルな感じで」、「(セリフを言う)タイミングをもっと早く」という監督の細かいリクエスト、ニュアンスの違いを即座に理解し、一発 OK を出すなど、絶妙の演技で応えていた大竹さん。おかげで撮影は順調に進行し、予定よりも早く撮影終了となりました。朝から頑張ってくれたエキストラに、「お疲れ様でした」と声をかけた後、スタッフに向かって、「See You Later！」という言葉を残して会場を後にした大竹さん。そんな茶目っ気たっぷりの様子に多くのスタッフが和まされました。

4. 大竹さんとの CM 初共演に舞い上がる假屋崎さん

假屋崎さんの撮影は都内近郊のスタジオで行われました。撮影直前に、大竹さんが假屋崎さんの撮影スタジオを訪問。大竹さんから「いつものカーリー(假屋崎さんの愛称)のように、独特の面白いしゃべり方でやってください」とのアドバイス(?)を授かり、「これから私の撮影が始まるのでドキドキしていますが、とにかく今回、大女優とご一緒させていただけてとっても嬉しい。CM 初共演なんて、幸せそのものです」と語っていた假屋崎さん。その喜びをぶつけるように、「とっととやっちゃまいましよう！」と駆け足で現場入りすると、エキストラやスタッフにも積極的に声をかけ、自ら現場の空気を盛り上げていました。

5. ペルシャ猫のご機嫌取りに必死!?

ペルシャ猫を膝の上に乗せているシーンでは当初、假屋崎さんが実際に飼っている猫(2匹)が出演するという案も。しかし、普段とは雰囲気異なるスタジオということで、現場では撮影に慣れているタレント猫のアンバーちゃんが起用されました。とにかくおとなしい猫で、本番中も假屋崎さんの膝の上で落ち着いて演技(?)していましたが、さすがに終盤は飽きてきたのか、突如歩き出すという場面も。假屋崎さんもスタッフと一緒に、猫の名前を呼びながら首すじを撫でて、懸命にだめていました。

6. カーリーのボケにツッコミを入れる大竹さん

撮影を前にして、らくらくホンユーザーの先輩・大竹さんに「FOMA らくらくホンⅢ」についていろいろ質問していた假屋崎さん。「いろんな機能があれこれあるんでしょ？」と質問すると、大竹さんは、「伝えたいことがきちんと伝えられるということは本当にステキなことだと思います」と、さまざまな機能の中でも特に、にぎやかな場所でも音声ハッキリ聞こえる新機能にとっても喜んでいました。また、緊急事態を伝えるワンタッチアラームの機能について、「これが一番大切な機能だと思いますね。誰かに襲われたりした時のために」と語る假屋崎さんに、「えっ、誰が(カーリーを)襲うんですか？」と突っ込んでいた大竹さん。息の合った2人のやり取りに、現場は爆笑の渦に包まれました。

【制作スタッフ】

広告代理店	: 電通
制作	: 二番工房
CD	: 吉田 賢
PL	: 大浦 芳久、小松 直樹、関 竹彦
Pr	: 酒井 朝子
キャスティング	: 中野 文子
プロデューサー	: 三浦 知之、吉田 光宏、徳植 篤史
PM	: 井上 聡
演出	: 三國 喜昭
撮影	: 谷中 重樹
照明	: 喜多村 治輝
美術	: 中澤 修平
スタイリスト	: 野口 佳香、高橋 靖子
ヘアメイク	: 新井 克英、富沢 のぼる
音楽	: 緑川 徹
出演	: 大竹 しのぶ、假屋崎 省吾